



2025-2026年度

UNITE
FOR
GOOD

よいことの
ために
手を取りあおう

第3076回 例会

2025. 9. 18

会長あいさつ



2025-2026年度 坂本 忠光会長

週報 No.2301

発行 2025年 9月 25日

2025-2026年度

会長 坂本 忠光

幹事 大木 崇寛

副会長 齋藤 哲雄

副幹事 奥川 淳一

編集責任者・公共イメージ向上委員会

委員長 寺脇 貴浩

ゲスト

上尾市役所 子ども未来部

子ども家庭保健課

課長 持田ゆりえ様

主任 近藤詩織様

認定NPO法人

さいたまユースサポートネット

専務理事 青砥祥子様

上尾市子ども若者自立支援事業

ルームここから

事業リーダー 加藤壮一郎様

行事予定

10月2日 社会奉仕事業 献血

10月9日 部門セミナー報告

10月18日 藤村病院健康フェア

生き生き感謝祭

10月23日 卓読 米山記念奨学生

王曉瑜さん

10月30日 定款の規定により休会

皆さん、こんにちは。本日もご出席いただきありがとうございます。前回の例会からの報告をしたいところですが、この1週間はロータリーの活動はほとんどなく、事務所で積算業務に専念していました。

本日は例会場の設営進行をしているSAAについて少しお話しいたします。SAAとはSergeant At Arms（サージェント アット アームズ）の略です。直訳すると「武器を携帯した軍曹」となります。実際には英国の王室・議会・法廷・社交クラブ等の守衛官という意味の慣用語のようです。始まりは英国の王位についたリチャード1世が1189年に身辺警護の任につかせた護衛官の官職名だそうです。SAAの役割は、年度計画書の上尾ロータリークラブ細則第4条第7節の会場監督に当たります。私なりの解釈では例会やその他の会合が楽しく秩序正しく和やかな雰囲気で行進するように努める責任者になるのかなと思っています。それではロータリークラブとしていつからSAAがあるかという、シカゴロータリークラブ創立の翌年1906年に正式な役職としてSAAが誕生しています。ただしSAAという記載はほとんど残っておりません。また1910年のシカゴでの第1回国際大会の時にSAAとしてセントルイスロータリークラブのウェルナー・ヘンケ氏が任命され会場を仕切ったのが始まりだという説もあります。

先日ロータリーソングについてお話しした際、1952年の日本の地区大会で、手に手つないで歌った時に、SAAを任されていたのが神戸ロータリークラブのコンソネさんという方が手に手つないで歌うことを提案して歌ったそうです。

標準ロータリークラブ定款、上尾ロータリークラブ細則でSAAはクラブの会長、幹事、会計、直前会長、副会長と並んで役員としての地位となります。年度計画書に役員・理事・委員長 構成メンバーのページがありますが、役員6人の中にSAAも入っています。またクラブ細則で定めない限りSAAはクラブのいかなる委員会にも属さない独立した役職となります。従って助手や代行役として数名の副SAAを置くことはあってもSAA委員会という組織名称はありません。SAAという役職を創設期のロータリークラブが取り入れたのが始まりですが、中世に遡る由緒ある役職からどう日本語に訳するか、当時

Rotary



ROTARY CLUB OF AGEO

の方々は苦労したのかなと思います。なぜなら日本にはこれに相当するような役がないからです。現在で言う会場案内係、例会進行係ではこの由緒ある役職の訳としては少し軽すぎるからです。それでこの役職は英語のままSAAという名称が残っているのではないのでしょうか。会場監督ということは例会運営に対しての最高責任者となりますのでここではあえて武器を携帯した軍曹というところを踏まえ、木田軍曹の指示に従い楽しく秩序正しく和やかな雰囲気の例会になっていければと思います。

本日の例会主題は寄贈式を行います。寄贈させていただきました家電製品について、この後ご説明をさせていただきます。本日もどうぞよろしくお願いいたします。

幹事報告

大木 崇寛 幹事

◇上尾地区暴力排除推進協議会様から「上尾・桶川・伊奈暴力排除地域安全大会」が10月11日（土）午後1時半から開催されるという案内が届いています。アトラクションでは林家木久蔵さんがいらっしゃるといことで、ご興味のある方は私までご報告ください。



◇10月2日の例会は社会奉仕事業の献血活動です。当番表をお配りしましたので、皆さまのご協力をお願いいたします。

◇ロータリーリーダーシップ研究会＝RLI開催のお知らせです。パートⅠは11月7日（金）、パートⅡは12月5日（金）、パートⅢは2026年1月16日（金）、いずれも9時開会となっています。パートⅠは奥川会員、パートⅢは私が参加予定です。

◇幸手ロータリークラブから「2023～25年度 2770地区の課題・問題点における幸手ロータリークラブの検証」の案内が届き資料をお配りしました。10月9日（木）18時30分からサンシティ越谷市民ホールで説明会が開催される予定となっています。内容はガバナンス事務所の運営についての詳細な報告とのことです。ZOOMでも参加可能となっています。

例会主題

社会奉仕事業 家電製品寄贈式

坂本 忠光 会長

今回、家電製品を寄贈させていただきました。これまで寄贈式は現地で行うことが多かったのですが、今回、寄贈したルームここからさんは自立支援事業を行っていて、人と接するのが苦手な人や、初めて見る大人を怖がる人が通っていて、そこに私たちが行くとうまくないのではという事情から、ルームここからさんに来ていただきました。寄贈したものは家電製品で、スチームオープンレンジと大型冷蔵庫です。寄贈品には当クラブのステッカーを貼らせていただきました。

家電製品を選んだ理由をお話しします。ルームここからさんでは自立支援や就労支援で調理実習を行っているのですが、冷蔵庫と電子レンジは古いものしかなく、調理実習のレポートが少なくというようなことを持田課長から伺い、それなら地区補助金を使った社会奉仕事業で当クラブが寄贈しようとなりました。9月9日（火）に大木幹事と二人で大型冷蔵庫とレンジを寄贈してきました。



Rotary



ROTARY CLUB OF AGEO

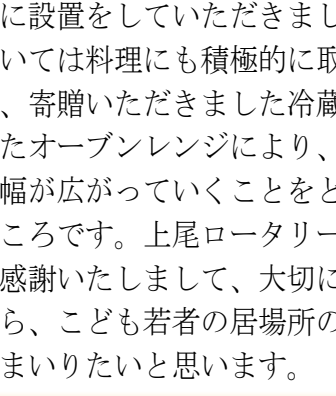
子ども未来部 子ども家庭保健課 課長 持田ゆりえ様

この度は本市に対し多大なるご寄贈品を賜り心より深く感謝を申し上げます。ありがとうございます。寄贈品の大型冷蔵庫とスチームオープンレンジは、坂本会長からお話しがありました通り、9月9日にルームここからに設置をしていただきました。支援プログラムにおいては料理にも積極的に取り組んでまいりましたが、寄贈いただきました冷蔵庫とスチーム機能のついたオープンレンジにより、これから挑戦する料理の幅が広がっていくことをとても楽しみにしているところです。上尾ロータリークラブ様のご厚情に深く感謝いたしまして、大切に活用させていただきながら、子ども若者の居場所の充実に向けて取り組んでまいりたいと思います。



認定NPO法人さいたまユースサポートネット 専務理事 青砥祥子様

今日はルームここからの話をさせていただきます。前に、少しだけ私もさいたまユースサポートネットのご紹介をさせていただきます。私どもは2011年に立ち上げた団体で、主に貧困問題、困窮する子どもたちの支援をすることを目的に創設しました。最初は本当に小さな始まり場という、子どもたち、若者たちが集まってくような居場所づくりをして、お友達づくりや、私どものようなスタッフが子どもたちのつらい部分を発見するための居場所づくりを始めました。そこに来ていろいろな困難が積み重なっているケースもあります。例えば経済的な困難というところだけでなく、一人親世帯、ネグレクト、虐待など、家庭の困難があって、子どもたちは学校に行ってもなかなか先生や友達との関係性がつくれず、不登校になるケースや、障害を持つ子もいました。さまざまな困難を抱えた子どもたちが集まってきた居場所づくりからスタートした団体です。翌年から行政の方々の応援があって、我々も生活困窮者自立支援法という貧困対策の法律に則って学習支援や自立支援を行い、子どもたちの生活で学習直すというところから、何らかの形で社会につながっていくというような取り組みをしています。



小学生から39歳までの子どもたち若者たちが支援の対象で、十数年間取り組んでまいりました。埼玉県で、貧困の中で暮らす子どもたちは約14万人を超えているという推計があります。私どもが受託をしているさいたま市には約3万人の子どもたちが、世帯年収200万円以下で、非常に苦しい思いをして暮らしています。学習支援の話では貧困対策ということで、厚生労働省の事業になりますが、そこで支えている子どもたちは、さいたま市約で繋がっているのは500人弱です。それぐらいの子どもたちしか、法制度の枠では支えられていないという現状の中で、私どもは地域で何とか困窮する子どもたちをどうやって支えていけるかということで活動しています。

子どもたちを取り巻く社会問題の中には、発達障害の可能性が小中学生だと8.8%の子どもたちに可能性があるのではないかと、長期欠席という不登校の子たちも含めると、全国で60万人、さいたま市には5,000～6,000人ぐらいの子どもたちがいるのが現状です。それだけ子どもたちが学校にたどり着けない時に、若者自立支援ルームのような、地域で居場所をやっているところの果たす役割が大事になっているのではないかと考えて活動しています。私たちNPOが精一杯活動しても限界があります。そういった中で我々を応援してくださる行政の方々、学校の先生たち、それから皆様のような地元の企業で活躍されている方々の支えがあると非常にありがたいなと思っています。ぜひ今後ともよろしくお願い致します。この度はありがとうございます。

上尾市子ども若者自立支援事業 ルームここから 事業リーダー 加藤壮一郎様

具体的にルームここから

についての活動の概要と、どのような若者が来て利用しているかをご紹介します。

まずは寄贈いただいたスチームオープンレンジを早速使わせていただき、先日プリンを作り、みんなでおいしく頂きました。早速調理の幅が出てきてありがたく思っています。

私たちの活動をご説明させていただきます。私たちは2020年5月、上尾市から委託を受けて事業を始めました。事業の開設当初は、週1回、上尾市文化センターの部屋をお借りして、少しずつやっていくという形で開始しました。2022年7月からは、中新井集会所だったところに拠点を移し、週2回の事



業を行ない、今年4月からは週3回になって、利用者が増えてきています。開設当初は、なかなか参加者も少なく、とはいえ丁寧に若者と向き合いながら活動を継続してまいりました。おかげさまで最近では1日に7名～12名が利用し、毎日にぎわうというような状況にまで来たのかな感じています。登録者の総数は累積で47名と、こちらも増えていきます。

開設当初は主に30歳前後の若者もいますが方たちが中心でしたが、近年は高校生など10代の登録者も増えていて、中には施設に通っている方や、障害者手帳をお持ちの方など属性も多様化しているとともに、いろいろな困難を抱えている若者たちが多様な形で日々実感しています。

具体的に火曜日と木曜日が通常開催日ということで、主に午後いろいろなプログラムを行っています。人とのコミュニケーションを進めていくプログラム、屋内外でスポーツをするプログラム、アートや自己表現など手を動かすプログラムなどがあります。ある程度の枠は決めています。何をやりたいかというのは、利用者さんに毎月1回企画会議をしてアイデアを出してもらうということで、自分がやりたいことをやっているの、利用者も増えてきていると思います。金曜日はフレキシブルに、個別にお話をしたり、クラブ活動をしたり、ご近所の畑をお手伝いさせていただいたりもしています。調理実習では短期間で非常に上達し、スタッフが何も言わなくても段取りを全部して、片付けまで楽しくやっているようです。

利用者には就労や社会参加に向けて大きなハードルがあるので、ぜひ呼びかけさせていただきたいのが、いわゆる社会体験や就労準備の段階での活動で皆さんにご協力いただけるとありがたいなと思っています。昨年から小さな商店のバックヤードの仕事や、物流配送の倉庫作業といった職場体験を少しずつ

つしながら就労に対する希望が出てきている利用者もいます。時間はかかりますが小さなステップで歩み、社会参加や就労準備に関する段階のところで、ぜひ地域の企業の皆さんと協働させていただきたいなというのがございまして以下に挙げる3つについて、もし関心があれば、ぜひ一緒に協力していけたらと考えています。1つ目はとにかく社会の現場を知らず経験が不足している若者たちが多く、まずは職場を見る機会を提供していただき、イメージをつけて就労のハードルを下げていただければと思います。2つ目は、役割を切り出していただき、初めは簡単な雑務のようなお仕事を創出していただければと思います。3つ目、最終的な職場体験の機会を短時間・短期間からご提供いただき、利用者と皆さんの企業とマッチングして一緒に協働していけるとありがたいと思います。

ルームここからは、このように困難を抱えている若者のサポートに関して、上尾市全域の、関係する方たちでスクラムを組んで包括的に支援をしていければというふうに考えていますので、地域の企業の皆さんに、社会的技術に向けた経験の機会を創出していただけるような協力関係を作っていけるとありがたいなと考えています。今後ともどうぞ協力のほどよろしくお願い申し上げます。本日はご清聴いただきありがとうございます。



スマイル

青砥様、加藤様、お越しいただきありがとうございました！！

坂本会長／大木崇寛幹事／齋藤哲雄副会長／奥川副幹事／大塚信郎会長／尾花会長／大塚崇行会長／齋藤博重会長／長沼会長／門崎会長／山崎会長／木田会員／原田会員

出席率

会員数 33

出席免除 2

出席対象者 31

出席者数 13

41.94%

例会日 毎週木曜日 12:30～13:30

事務所 〒362-0035

埼玉県上尾市仲町1-8-31 新和エクセルビル303

例会場 上尾東武ホテル3F(コミュニティホール)

TEL 048-775-7788

/ FAX 048-776-9799

